

## 2024 年度福岡ブロックアワードエントリーシート

LOM 名	一般社団法人 大牟田青年会議所	
事業名	OMOIAI プロジェクト 結 YUI～心と心を繋ぐ田んぼアート～	
事業担当者	未来創造委員会 委員長 藤好 拓人	
事業担当者連絡先	Tel:08017225118	Mail:sakai.co.japan@gmail.com
実施に至った背景	<p>JCI 大牟田は、郷土大牟田のまちの未来のために創立 60 周年より OMOIAI プロジェクトに取り組んできました。時代の流れと共に学ぶ環境が変化していくなか、子どもたちが社会課題に対して目を向け、変化する環境に順応する力を培う機会が不可欠であり、経験を積み重ねることで家族、仲間、郷土を想う心を育み、郷土大牟田のまちの未来を創造していく人財へと成長していく必要があります。</p>	
事業の目的	<p>事業目的（対外）：子どもたちの道徳心を芽生えさせ、心豊かな次世代の人財へと育成することを目的とします。</p> <p>事業目的（対内）：青少年健全育成への自覚と責任を感じ、青少年健全育成に対する理解を深める。</p>	
事業の概要	<p>【動画をご覧ください】</p> <p><a href="https://youtu.be/AMUOCTGlp_o?si=F_-GZXU_3TN6FBXi">https://youtu.be/AMUOCTGlp_o?si=F_-GZXU_3TN6FBXi</a></p> <p>今回田んぼを会場としたことは、郷土愛を育む会場として最適と考えました。</p> <p>お米は日本で約 3000 年前から栽培をされており、主食とされています。農育、食育は近年の子どもたちに必要な学ぶ場であり、田植え体験を通して、歴史を学ぶ機会にもなります。そして、田んぼアートを行うことにより子どもたちが主役となることで、社会課題への問題提起にも繋がり、多くの人に認知することによって耕作放棄地や担い手の後継者不足などの社会課題の解決の糸口になると考えております。</p> <p>また、子どもたちが田植えしたアートがたくさんの人たちの目に止まることによって郷土愛を醸成し、自尊感情が高まり、郷土愛はさらに強まると考えております。そして収穫体験を通して、お米がどのような過程で成長していくのかとい</p>	

	<p>う学校で学ぶことと直結した学習の機会になると考えております。また、仲間と協力をして収穫をすることで達成感を得ることが出来ると考えております。</p> <p>収穫後に、一緒に田んぼアートを行なった参加者でカレーを作り、同じ釜の飯を食べることによって一緒に協力して取り組んできた仲間への感謝の気持ちを持つことが出来ると思います。そして、毎日当たり前のように並ぶ食卓に対する家族への感謝の気持ちを込めてメッセージカードを作り、収穫したお米を併せてプレゼントをすることで家族を想う心を育むことに繋がると考えております。</p> <p>また田んぼアートは九州を見ても行っていることが珍しく、そのような困難なことに仲間と協力しながら挑戦をすることで思い合う心と心が道徳心を芽生えさせ次世代を担う人財が生まれると思います。</p>			
広報戦略	<p>田んぼアートを一望できる、櫓を設置し、来場者数 280 名を動員しました。また、NHK や地元広報誌、関係団体へのキャラバンなどを行い、広く周知しました。またプロジェクト全体の動画を撮影し、子どもたちの自尊心を高める、広報戦略を実施しました。また行政や教育委員会と連携し、最終的にはお米を子ども食堂に 360 k g 寄付することで更なる事業の深みを持たせることができました。</p>			
実施による工夫	<p>安全管理を徹底するために、ヤードの設置や地元農業法人と連携して、実施しました。田んぼアートは前例が九州でも少ないので、鹿児島からアドバイザーとして入ってもらい、協力していただきました。また櫓担当をメンバーに振り分けることによって、メンバー同士の絆を育む時間となりました。</p>			
事業の参加者	会員数	50 名	参加率	92%
	対外目標	50 名	達成率	98%
事業対象者	大牟田市内の小学生 1 年～ 6 年生			
開催期間日時	<p>【事業日時】</p> <p>第 1 回 2023 年 6 月 11 日(日) 予備日：2023 年 6 月 18 日 (日) 9：00～15：10 田植え体験</p> <p>第 2 回 2023 年 10 月 14 日 (土) 予備日：2023 年 10 月 21 日 (土) 9：00～16：55 収穫・カレー作り</p>			

開催場所	<p>●第1回（6月11日（日））予備日:2023年6月18日（日）</p> <p>圃場 大牟田市白銀（白銀調節池公園 南側）</p> <p>●第2回（10月14日（土））予備日：2023年10月21日（土）</p> <p>収穫体験：圃場 大牟田市白銀（白銀調節池公園 南側）</p> <p>カレー作り：リフレス大牟田 大牟田市四ヶ 1221</p>
事業区分	<p><input checked="" type="checkbox"/>新規    <input type="checkbox"/>継続</p>
結果	<p>1. 目標がどのくらい達成できたか</p> <p>【対内】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業目的に達した点</li> </ul> <p>アンケートの結果より、青少年育成事業に自覚と責任を持って取り組もうという気持ちは強くなりましたかという問いに 50/54 名がなつたと回答し、「青少年健全育成への自覚と責任を感じ、青少年健全育成に対する理解を深める」という目的は概ね達成できたと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業目的に達しなかった点</li> </ul> <p>アンケートの結果より、青少年育成事業に自覚と責任を持って取り組もうという気持ちは強くなりましたかという問いに 5/54 名がならなかったと回答し、「青少年健全育成への自覚と責任を感じ、青少年健全育成に対する理解を深める」という目的が達成することができませんでした。</p> <p>また 4 名/54 名の方に事業に参加していただくことができず、目的を達成することができませんでした。</p> <p>【対外】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業目的に達した点</li> </ul> <p>アンケートの結果から、44 名/50 名が OMOIAI プロジェクトをとおしてできた友だちと仲良くできたと回答し、30 名/50 名が OMOIAI プロジェクトをとおして新しいことにチャレンジする気持ちは高まったと回答し、30 名/50 名が地域の役に立つことによって自分の自信と誇りに繋がったと回答し、「子どもたちの道徳心を芽生えさせ、心豊かな次世代の人財へと育成する」目的は概ね達成できたと考えます。</p>

	<p>・事業目的に達しなかった点</p> <p>13名/50名がOMOIAIプロジェクトをとおして新しいことにチャレンジする気持ちは高まったか?という設問に対し「普通」と回答し、1名/50名が「高まらなかった」と回答しました。13名/50名が地域の役に立つことによって自分の自信と誇りに繋がったかという設問に対し、「普通」と回答し1名/50名が「高まらなかった」回答し、「子どもたちの道徳心を芽生えさせ、心豊かな次世代の人財へと育成する」目的は達成することができませんでした。</p> <p>また10月21日事業実施に当たり、6名の参加者が不参加となり、事業目的を達成することができませんでした。</p> <p>2. 上記の結果の想定外の結果</p> <p>特になし。</p> <p>3. 上記の結果の確認方法</p> <p>アンケート</p> <p>4. 検証結果</p> <p>上記のとおり</p>
LOMや地域社会への影響	<p>約4か月間に及ぶ事業は、メンバー同士の絆を深め、地域へと派生したことを感じ取れる事業となりました。</p>
事業の長期的な影響	<p>事業に参加してくれた子どもたちは地元のお米を栽培することで、郷土愛を育み、食に関する意識の向上を図ることができたと確信します。また仲間とともに大規模な事業を実施したことで、多くの人の目に留まる田んぼアートは子どもたちの自尊心が高まったと確信します。</p> <p>また今回の取り組みで行政や地域と青年会議所の関係がより強固なものになったと考えます。</p>
考察や推奨	<p>今回の事業を通して、地域の農業法人様とは密接に関わるようになりました。</p> <p>また今回の事業実施後、様々な方面より継続して欲しいなどの声をいただきました。形は変わりますが、青少年育成事業は今後も継続してまいります。</p>

事業風景(写真)













